

令和5年度 第2回 静岡県立浜松湖南高等学校 学校運営協議会議事録

- 1 日時 令和5年10月30日(月)
- 2 場所 静岡県立浜松湖南高等学校 会議室
- 3 出席者 岩成 善久(令和4年度 P T A会長)
松本 雅美(ムンド デ アレグリア学校 理事長兼校長)
坂田 雄章(元自治会副会長・元中学校長)
杉山 哲也(河合塾浜松校 校舎運営チームチーフ)
- 4 内容
 - (1) 校長挨拶
 - (2) 学校の近況報告
(英語科の活動・部活動結果、進路指導、ヘンドン校との相互交流・探究活動)
 - (3) 授業見学(1 EHR)
 - (4) 意見交換
 - (5) 諸連絡
- 5 議事録(要点)
 - (1) 校長挨拶
今年度は文化祭、体育大会を保護者の入場を制限せずに行うことができた。また4年ぶりにオーストラリア語学研修も実施でき、学校の教育活動もコロナ前に徐々に戻りつつある。しかしながら、まだまだ新型コロナウイルスやインフルエンザの感染防止に必要な状況が続いている。
 - (2) 学校の近況報告
 - (ア) 英語科の活動報告
英語学科長よりオーストラリア語学研修、サマーセミナー、ムンド校訪問などの取組を説明した。
「ホームステイは一家族一人か」と委員より質問があり、英語学科長から「オーストラリアに人気が集まっており、一家族に二、三人にせざるを得ない状況になっている。」旨の説明をした。
 - (イ) 部活動の結果報告
生徒課副課長より主に東海大会以上を中心に大会の結果を報告した。
 - (ウ) 進路課より活動報告
進路課長より進路課の取組の1つとしてOBによる進路指導などの報告をした。

(エ) ヘンドン校との交換留学の報告

教頭より 10 月 23 日から 30 日まで来校した姉妹校ヘンドン校の生徒と本校生徒との交流の様子を報告した。

(オ) 地域連携について（探究活動）

副校長より、他校の学びを経て生徒達が探究活動で行っている『浜名湖うな重高校』の取り組みについて報告をした。

(3) 6 限授業見学

1 EHR の総合英語で、1 人 1 台端末を利用して、生徒の意見を可視化する授業の前半部分を見学した。

(4) 意見交換

国や県における普通科改革の動向について説明後、魅力ある学校づくりをテーマに意見交換を行った、主な意見は次の通り。

- 湖南高校は進んでいる印象がある。オンリーワンのような取り組みが中学校段階からあると良い。
- 英語科の特色をどうやって活かしていくかが大事である。また、英語科を出た後にどのような道に進んでいるか発信することも魅力化につながるのではないかな。
- 進学も部活動も頑張っている、魅力ある学校である。今後はさらなるブラッシュアップをお願いしたい。
- 校風も 1 つの魅力である。その点でも湖南は良いと感じている。
- 英語科を出ると英語の技能はもちろん国際的な発信力を持てるなどの魅力があると良い。今後に注目したい。
- 湖南に行けば英語が磨けるというイメージがある。英語が強いというアピールをすると良いのではないかな。

(5) 諸連絡

第 3 回は 1 月下旬から 2 月上旬に開催する予定であることを連絡した。